

～さらに住みよい安城市を目指して～

横田雅史

市政
レポート

2025年7月
No.9



発行：横田雅史

連絡先：〒446-8511 安城市里町長根2-1

TEL：0566-96-0147

FAX：0566-96-0148



ご挨拶



安城市役所内の
クールシェアスポット！
のぼり旗が目印です

夏の訪れとともに、市内の緑もいっそう鮮やかになり、気温や湿度が高いが続いております。安城市では、熱中症対策の一環として「クールシェアスポット」を市内45カ所の公共施設や民間施設に設置し、どなたでも涼しく過ごせる場所としてご利用いただけます。みなさまで涼しい場所を共有することで、熱中症予防はもちろん、ご家庭の電力消費の節約にもつながります。皆さまにおかれましては今年の夏も、こまめな水分補給や休息を心がけていただき、体調を崩されませんよう、くれぐれもご愛ください。

令和7年5月臨時会

令和7年5月臨時会では、安城市議会正副議長の選挙が行われ、その後、常任委員会（総務企画、健康福祉、市民文教、産業建設）などの議会人事が決定し新たな体制でスタートしました。私は健康福祉委員会委員を担当します。

<健康福祉委員会の担当>

社会福祉、介護保険、国民健康保険、国民年金、子育て支援、保育、保健衛生、その他市民福祉の向上、こども及び健康に関することなど。これらに対して、議案などの審査や調査を行っていきます。



「市議会だより」の
編集を担当します！

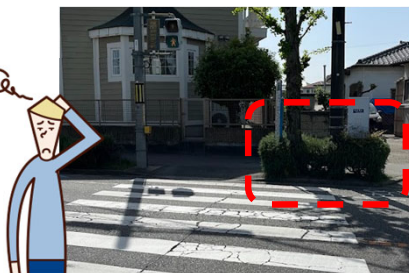


市議会の活動などを
分かりやすく
お伝えしていきます。

くらしの相談 皆さんの声が実現しました！

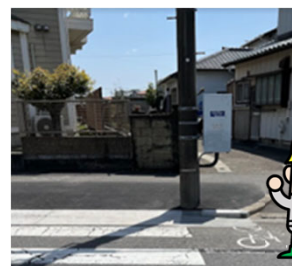
<相談>

歩道の植栽が横断歩道にかぶっているため、歩行者や滞留場所の妨げになっており困ります。



<対応>

市の道路管理者へ相談し、植栽の撤去と歩道の改修を実施。歩行・滞留空間を広くとることが出来ました。



地域での困りごと、ご要望などございましたら

労働組合の「くらしの相談カード」やホームページにてご相談ください。



令和7年6月定例会 お知らせ

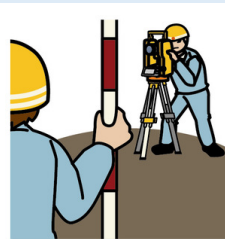
令和7年6月定例会では、一般質問、各議案などへの質疑が行われました。議案として提出された条例改正や令和7年度一般会計補正予算（2億7千万円余）など合計23本を原案通り可決し閉会しました。

令和7年度一般会計補正予算（主な増額内容を抜粋）

安城駅周辺のまちづくりに向けて、安城駅鉄道高架化を視野に調査が始まります。

○安城駅周辺まちづくり基本調査業務委託料（補正額：1億3000万円）

安城駅周辺の調査を通じて、慢性的な交通渋滞や都市施設の老朽化、まちに対する新たな投資が進んでいないなどの課題が分かり、その解決には鉄道高架化が必要と認識。調査内容は、名鉄西尾線を交差する地点から都市計画道路安城高浜線の路線橋と交差する地点までの延長2.6km区間の鉄道用地において必要な測量を行います。



令和7年6月定例会 一般質問 ご報告

健康増進に向けた取組について

私の思い

国の調査では、健康寿命は男性約72歳、女性約75歳であり、平均寿命は男女ともに80歳以上であることから、多くの方が長期間健康上の課題を抱えて過ごしている現状がある。定年後もより長く健康で自分らしく暮らせる社会にしていきたい。

質問

更年期障害は、働く世代にとっては、日常生活や仕事への影響が大きく、重要な健康課題となっている。今後どのように進めるのか？



<回答>

更年期障害に関する学習機会の提供、啓発活動、相談がしやすい環境づくりの3つの視点で取組む。

啓発活動では、市公式ウェブサイトへの更年期障害に関するページを新設するとともに、先進事例を参考に、男女別の更年期症状やセルフチェックリストなどを盛り込んだ啓発チラシを作成していく。

カーボンニュートラル(CN)に向けた取組について

私の思い

CNの実現は、持続可能な地域社会の構築や企業の競争力強化、次世代への責任を果たす上で不可欠な課題です。そこでCNに向けた、安城市の今後の取組について伺います。

質問

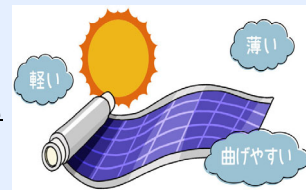
太陽光発電の普及促進について、新技術の活用に向けた市の考えは。



<回答>

「あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会」に参画し、公共施設への導入の可能性も含め、情報収集を進め。また、県の「あいちカーボンニュートラル戦略会議」が選定した「ペロブスカイト太陽電池普及拡大プロジェクト」における公共施設等での実証実験にも応募している。

加えて、実証実験の現地視察を行うなど、積極的に調査研究を進めていく。



健康増進



更年期の症状は周囲の理解が得られにくく、当事者が不安や悩みを一人で抱え込んでしまうことも少なくないと思います。家庭や職場で、誰もが安心して相談できる環境や、気軽に話し合える雰囲気をつくるのが、更年期の悩みを抱える方へのサポートにつながります。そのためには、体について正しい知識を広めるとともに、お互いを思いやる雰囲気づくりがとても大切だと考えます。更年期は誰にでも訪れる人生の一時期です。誰もが安心して相談できる社会を実現するために、私自身も引き続き取り組んでまいります。